

2022年度 宇都宮市創造都市研究センター事業評価について

2022年度宇都宮創造都市研究センターの事業について、センターを構成する大学・宇都宮市等から選出した5名の委員による「評価委員会」を2023年7月20日に開催し、次の様な評価となりましたので、報告いたします。

2023年7月21日

宇都宮創造都市研究センター評価委員会

委員長 長 島 重 夫

宇都宮市創造都市研究センター「中長期計画」に関する評価

<中長期計画の具体的施策及び達成度を測る指標>

施 策	H30	令元	令2	令3	令4	評価	令5
大学間の連携（総合型大学の企画、検討）		○	○	○	○	B	○
同（創造都市形成と地域課題の研究）	○	○	○	○	○	A	○
同（単位互換）	○	○	○	○	○	A	○
同（共同授業）		○	○	○	○	A	○
同（共同教育プログラムの策定）		○	○	○	○	A	○
同（FD・SD）	○	○	○	○	○	A	○
同（人事交流）	○	○	○	○	○	A	○
同（施設・設備の共同利用）		○	○	○	○	A	○
高大接続（高校、大学、企業等による協議等）		○	○	○	○	A	○
生涯学習（リカレント教育等）の推進		○	○	○	○	B	○
地域の国際化の実践的推進		○	○	○	○	A	○
公開講座の開催	○	○	○	○	○	S	○
産学官による地域活性化のための共同研究		○	○	○	○	S	○
産学官連携による就職支援	○	○	○	○	○	A	○
総 合 評 価						A	

<評価>

○宇都宮市という活動しやすい一定のエリアを対象としているため、大学・宇都宮市・産業界等との連携が図れるほか、形成する大学の学術分野が多岐にわたるため特色化が図りやすく、計画は着実に実行されている。2022年度については、創造都市の形成及び地域課題の研究、単位互換、共同プログラムの策定、FD・SDの開催等の大学間連携に係る取り組みのほか、高大接続、地域の国際化の実践的推進、公開講座の開催及び産学官による

地域活性化の取り組みが着実に実行されている。なお、産学官による地域就職支援センターにおける就職支援については、キャリア形成支援推進協議会（県経営者協会主催）による産学官連携による就職支援に参加し活動しているほか、懸案であった企業との意見交換会・交流会が開催され成果を得たこと等から、評価を A とする。(B→A)

なお、その他総合型大学構想の企画・検討及び生涯学習の推進に引き続き取り組むこととしており、総じて着実な実行と目標に対する成果が期待できる。

※部会等の開催状況（2022年4月1日～2023年3月31日）

- ・運営委員会 11回
- ・中長期計画策定等検討部会 1回
- ・大学連絡会議 2回
- ・宇都宮市との協議及び地域課題解決の研究 2回
- ・地域就職支援センター運営会議 1回
- ・地域活性化のための共同プロジェクト研究班 1回
- ・ 同 （創造都市研究ゼミ） 6回

（評価基準）

S：計画を超え、目標を上回る堅調な成果が得られている。

A：計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。

B：計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。

C：計画の半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一部の見直しが必要である。

D：計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、取組や目標に関して抜本的な見直しが必要である。